

Ⅱ 事業実施地域の取組

こころのけんこう部会

児童の自己肯定感の高揚

～目の前にある困難を乗り越え、さらに高みを目指す力の育成～

1 こころのけんこう部会

本校を含む中学校区3校(越谷市立南越谷小学校、出羽小学校、富士中学校)では、越谷市が目指す小中一貫教育の実現のため、「学力の向上」「自己肯定感の高揚」「学校生活充実感の高揚」を共通のねらいとして教育活動に取り組んでいる。

その中で、令和4年度から、「自己肯定感の高揚」を健康課題として取り上げ、健康課題研究組織として「こころのけんこう部会」を構成し、課題解決に取り組んでいる。

「こころのけんこう部会」では、第1ステージを小1～4、第2ステージを小5～6と中1、第3ステージを中2・3とし、それぞれ発達段階に応じて、育てたい力を設定している。

今年度は第2ステージにあたる小学校5年生に焦点を当てた取り組みにおいて、「埼玉県 学校における現代的な健康課題解決支援事業」を活用し、児童生徒のさらなる自己肯定感高揚のための取組の充実を図ることとした。

2 健康課題解決委員

明治学院大学 心理学部 心理学科 助教 山田 達人

埼玉県教育局 県立学校部 保健体育科 指導主事 高沢 聖子

越谷市教育委員会 学務課 主任指導主事 新井 和幸

3 第1回連絡協議会

(1) 日 時 令和6年7月11日(木)午前10時～11時30分

(2) 会 場 zoomによるオンライン

(3) 内 容

ア 令和6年度埼玉県「学校における現代的な健康課題解決支援事業」概要について

イ こころのけんこう部会の健康課題について

ウ 課題解決に向けた方策の検討

・自己肯定感の高揚を図るきっかけを教育課程に反映させたらどうか。

- ・自分の体の変化と心の関係を考えさせる。
- ・薬物乱用防止は自分も人も大切にする。
- ・保健室に来室する子どもへの声かけやアプローチの仕方を考えるとどうか。
- ・子供のころに自己肯定感をどれくらい育んだかは、大人になってつながる。学校全体で雰囲気を作り、学校で先生方に認めてもらうことで自尊感情が育まれる。

4 健康課題解決検討委員会【事前打合せ】

(1) 日 時 令和6年8月21日(水)午後3時～午後3時30分

(2) 会 場 zoomによるオンライン

(3) 明治学院大学 心理学部 心理学科 山田 達人 助教との事前打ち合わせ

- ・これまでの経緯と当日ご講演いただく内容

5 健康課題解決検討委員会【実施内容】

1 日 時 令和6年11月19日(火)午前9時35分～午前10時20分

2 会 場 越谷市立南越谷小学校 体育館

3 講義内容

「自分を高めるために」 (自己肯定感の高揚)

講 師:明治学院大学 心理学部 心理学科 助教 山田 達人 様

対 象:5年生児童 139 名

参会者:保護者14名 教員10名程度

6 こころのけんこう部会の取組

令和6年度 埼玉県「学校における現代的な健康課題解決支援事業」

児童の自己肯定感の高揚
～目の前にある困難を乗り越え、さらに高みを目指す力の育成～

こころのけんこう部会

1

小中一貫教育 Concept ～**構想**～

富士中学校ブロック
「こころのけんこう部会」
本研究、取組の焦点化



2

1 富士中学校区小中一貫教育の目指す児童生徒像 「自立した生き方を身につけた児童生徒」

～場に応じて、自分で判断する力や協働して解決する力を発揮することができる～

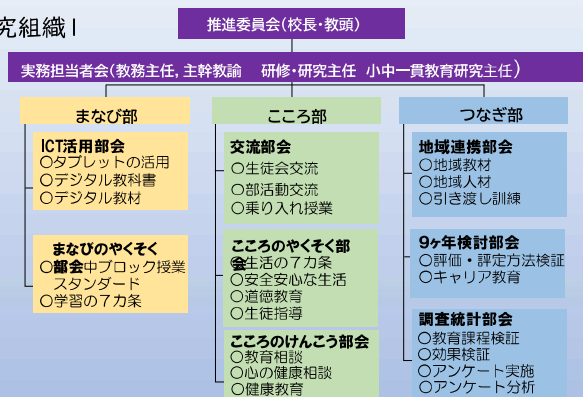
2 目指す児童生徒像の実現に向けたアプローチの仕方

- 「わくわく感のある授業」で論理的思考力と対話力等の資質・能力を育成する。
- 児童生徒一人一人が持つ課題を主体的・対話的に解決し、学びを深め心の豊かさを育成する。
- 9年間を見通した学習内容の系統性や継続性「つながりの目」を重視した教育を推進する。
- 学びあいや振り返り等学びの過程に重きを置いた活動を重視する。
- 開かれた教育課程を実践する。
- 学校・家庭・地域の教育力を活用した主体的・対話的で深い学びを推進する。

3

3 研究組織

研究組織1



「こころのけんこう部会」

今年度は令和4年度から3年目の取組になる「第2期小中一貫教育」の研究組織において、自己肯定感を高める心豊かな活動をPDCAサイクルで取り組んでいる。学校生活充実感を高める取組について小学校2校と中学校1校で、研究の進捗状況の確認や情報交換を定期的に行っている。

研究組織2



4

4 9年間を見通した児童生徒の育てたい力と心の様相

ステージごと 学年の分類	児童・生徒に身につけさせたい力と心の様相
第1ステージ 小1～小4	・自分の意見や考えを友達に話すことができる力 ・テーマに向かって学習を進めることができる力
第2ステージ 小5～6、中1	・質問の意図を的確に捉え自分の意見が伝えられる力 ・書いたものを見ずに自分の意見が伝えられる力 ・根拠を明らかにして伝え合える力
第3ステージ 中2～3	・めあてやテーマを的確にとらえ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、自己の生き方を具体的な姿として考える力

5

5 授業で自己肯定感を高める ～教育の核となる「授業」での自己肯定感を高めることが重要～

【児童生徒のわくわく感】

- 各教科等や生活から得た知識や技能を活用・発揮し、問題解決に挑む。
- 1人では解決できない問題も、他者との協働により解決できる。
- 「分かる!」「できる!」を体感できる。
- 自分の思いや考えを存分に表現できる。
- 疑問や不思議に思ったことを、とことん追究できる。
- 外部機関や外部人材と協働することで、不可能を可能にする。
- 個別の支援が充実し、全ての児童生徒が授業の主役になれる。
- 自分の考えが変化したり深まったりする。

【授業中の児童生徒の自己肯定感】

- ・授業中、先生や友だちに認められてうれしい。
- ・問題をつかみ、課題解決に早く取り組みたい。
- ・見通しをもって「今日の問題ができそうだ」と感じる。
- ・もう少しで解決できそうだと感じる。
- ・自分の意見が役に立った。
- ・友だちの意見が自分の考えを成長させてくれた。
- ・学習を振り返って「できた」「わかった」と感じる。
- ・学習したことが、次の学習や生活に生かせそう。

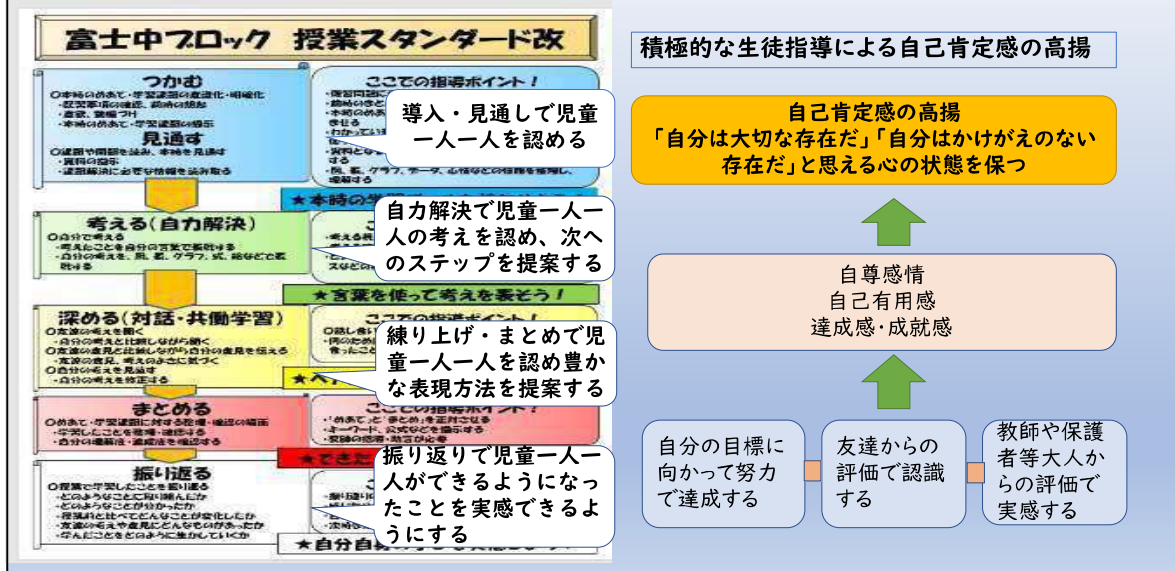
【自己肯定感を高めるための意図をもった振り返りが重要】

- 自分の成長や変容
- 友だちのよさや集団で学ぶよさ
- 自分の意見が友だちの役に立っている
- 新たな気づきや課題を次の学びにつなげる
- 今日の学びを次の意欲につなげる
- 学んだことを次の学習や生活でどう生かすか考える

安心できる居心地のよい集団（学級）等 教育環境の土台づくり

6

学習過程と教師の意識



7

6 南越谷小学校の学校経営方針

～自己肯定感の高揚の位置づけ～

【南越谷小学校スクールプラン】と【南越谷小学校ステージプラン ロードマップ】



8

7 「こころのけんこう部会」での活動の実際

～豊かな心を育成する活動の柱～

- (1) 小中の学習内容の系統性の検討と授業構成の協議
- (2) ICTを有効活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」
- (3) 人権教育を根底にした道德教育の推進
- (4) 特別支援学級での道德授業の指導方法の工夫・改善
- (5) 家庭・地域の協力を得た心の教育の実践

9

(1) 小中一貫教育の学習内容の系統性を意識した授業構成

空気を温めるとどうなるか予想と比べながら、どうしてそうなるか、考えながら実験しよう。

予想と比較し、どうなるか、根拠をよく考えながら学習している様子がわかります。

みんなで考えを出し合おう。空気のかさの変化の結果が楽しみだな。

ここに一本補助線を引けば三角形の面積の学習が使えるのかな。

学習のつながりを思い出しましょう。台形の面積を求める方法は、今まで学習したことが使えるそうですか。

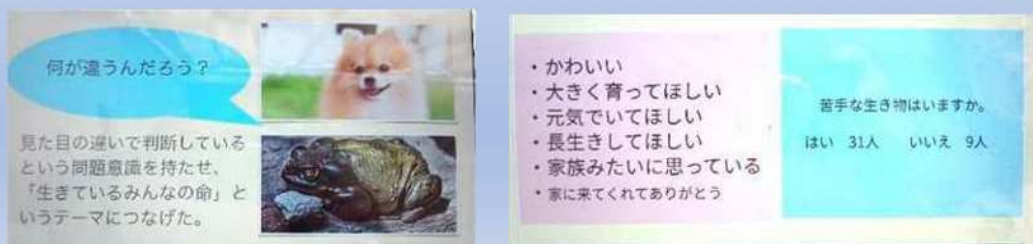
10

(2) ICTを有効活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」

- ①学習課題を焦点化したり、道徳的価値の導入や教材への理解を図る
- ②道徳アンケートの集計結果の提示や協働的な学びを深める
- ③シンキングツールの活用により言語活動を活性化する

友だちの意見を聞いて今の自分の気持ちの変容をタブレットで赤と青の部分を示す

- ④自分の表現をフィードバックする
- ⑤振り返りの活動で自己の学びの成長を実感する 等



11

(3) 人権教育を根底にした道徳教育の推進

【道徳授業の話し合いにおける自己肯定感の高揚】

- ・自分の意見を認められた
- ・相手の考えを理解し共感する
- ・友だちの考えと自分の考えを比較しながら考える
- ・自分なりの根拠をもとに考える
- ・友だちの考えで自分の意見が成長する
- ・自分のことを振り返りこれからを考える

令和5・6年度の重点とする道徳的価値

- 「公正・公平・社会正義」
- 「生命の尊重」
- 「個性の伸長」

小中一貫教育富士中学校区では

- ・考え議論する話し合いを目指す
- ・思考過程を明確にした板書
- ・小中ともに「振り返り」の時間を大切にし、自分を見つめる
- 「〇オの気持ち」ノート指導
- ・道徳的価値の重点化

12

公正・公平・社会正義

4年 山びこ村の二人



人間は自分を信用してくれることに気付けば自分の良さを生かしもっと頑張ろうと思う。一人一人が良さを認め合えば努力できるし、支え合える、平等になればみんながうれしい集団になる。公正・公平の道徳的価値が集団の向上へと議論が深まった。

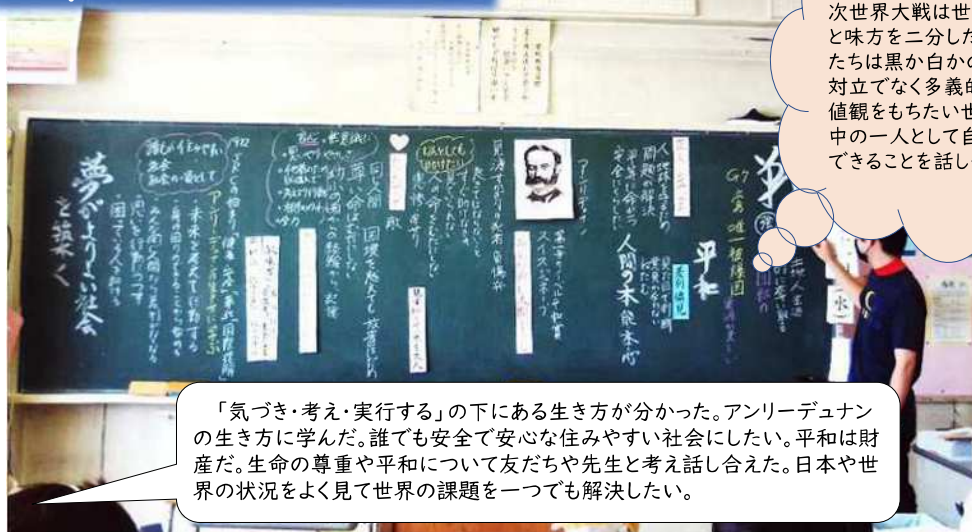
気が付かないうちに相手を決めつけない。イメージでものを考えたり判断したりしない。みんな一緒に働く村の仲間だ。

人を比べるのはよくない。差別は最初は小さいけれどどんどん大きくなる。自分は器の大きい人になりたい。自分がどうなりたいかが大事だと思う。

誰にでも良いところはあるから見つけてあげたい。相手を信じれば本当の姿が見えてくる。温かく広い心で人と接しよう。

公正・公平・社会正義

6年 アンリ・デュナン



ウクライナ侵略により世界が変わった。第二次世界大戦は世界が敵と味方を二分した。自分たちは黒か白かの二項対立でなく多義的な価値観をもちたい世界の中の一人として自分でできることを話し合おう。

「気づき・考え・実行する」の下にある生き方が分かった。アンリー・デュナンの生き方に学んだ。誰でも安全で安心な住みやすい社会にしたい。平和は財産だ。生命の尊重や平和について友だちや先生と考え話し合えた。日本や世界の状況をよく見て世界の課題を一つでも解決したい。

友情・信賴

4年 泣いた赤おに

大切なことを気付かせてくれた友達

言葉がけは人の心に影響を与えるし、大切なことを気付かせてくれるのが本当の友だち。自分もそうになりたい。ただ自分の友だちには青おににそんなことはさせたくない。一緒に幸せになりたい。

青おには、友だちの性格や願いを理解し、今後心配している。でもその後は自分で努力してほしい。赤おにはずっと後悔しているかも。青おにの分まで後は自分で頑張るよ。

友だちとのよりよい関係について最上の策を模索し、友情観を見出した。

個性の伸長

5年 日本の「マンガの神様」

【自己肯定感を高めるを高めるための道徳
「補充・深化・統合」した授業の一例】
※並味にちがいのよいところを伝え合ふ

①友だちのすてきなポイントを見つけるために



思いやり 親切

3年 ぽかぽか言葉



「指導内容は、よりよい人間関係を築くうえで求められる基本姿勢として相手に対する思いやりの気持ちを持ち親切にすることに関する内容項目である。自己中心的な主張だけでは望ましい人間関係を築くことができないため、相手の立場を考え、日常生活と結びつけることで言葉の大切さについて多面的・多角的に考えさせることに重点を置く。」

個性の伸長

4年 花をさかせた水がめの話

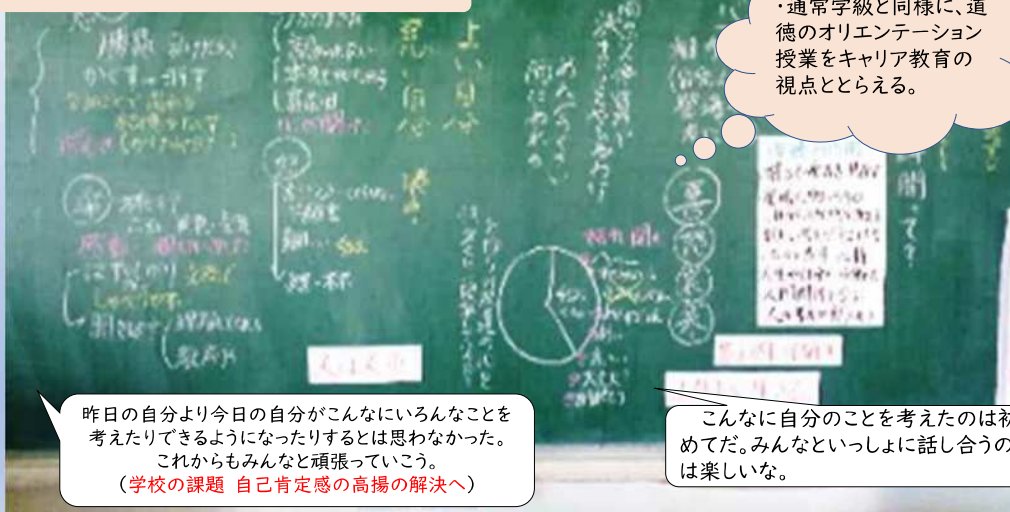


自分の特徴をよく考えれば弱いところをも長所にとらえることができるね。

17

(4) 特別支援学級での道徳授業の指導方法の工夫・改善

道徳のオリエンテーション授業



・通常学級と同様に、道徳のオリエンテーション授業をキャリア教育の視点ととらえる。

昨日の自分より今日の自分がこんなにいるんなことを考えたりできるようになったりするとは思わなかった。これからみんなと頑張っていこう。
(学校の課題 自己肯定感の高揚の解決へ)

こんなに自分のことを考えたのは初めてだ。みんなといっしょに話し合うのは楽しいな。

18

(4) 特別支援学級での道徳授業の指導方法の工夫・改善

自立活動

人とかわかることの大切さを考えよう

1. 自立活動 (コミュニケーション)

①まず自分で考える。
②友だちの意見を聞いて
③みんなが納得するものに
* 同感・共感 (学)

気づき → 学び → 成長

見通しをもち成功体験を
積み重ねたい。頭の中の整理を
させる。人に関心を持たせて
コミュニケーション能力を高
め、視野を広げさせたい。

2. こんなクラスにしたい
「なみよし学校」 楽しい
思いやり
めあてにむかって頑張る
ゆり(は)がある
認められたい
決まりを守る
あたり前を続ける
いそがしい生活にしたい！
みんなで成長できる

3. JRC
人道
1つしかない大切な命
道
・人々と共に生きる
・たった1回の人生
・正確はってない人それぞれ
・生きて証・記録
・人とのかわりの中で
自分が自信をもって進む道

人とかかわりの中でいろんなことに気付くんだね。
自分が自信をもって毎日を過ごしていきたい。

19

自分事として捉えると自分の考えが書ききれないほどの振り返りのノート

自分の考えを深め広げたノート

地球に住んでいるみんなのことを考えたノート

主人公にエールを送るノート

20

越谷市立病院の助産師さんから生命尊重を学ぶ

生まれてくることのすばらしさ、おかげさまの命、望まれて生まれたことをしっかりと受け止める。自分の意志で生まれてきたのだから自分で生き方を決める。だから人生の主演は自分!
※自死の根絶のため困ったとき悩んだときはSNSでなく信頼できる顔の見える大人に自分の言葉で相談しよう。



助産師さんとの学習では赤ちゃんは自分の意志で生まれてきたということを初めて聞き、家族の愛情を感じる。



21

明治学院大学 山田先生から自分を高める方法を学ぶ



相手に心のエネルギーを与える言葉・態度・気づかいをふやそう。



言葉の力がわかったね。これから人も人を元気づける言葉を使おう。自分も元気になれるからね。



実際に話してみても、友達に言われた言葉で自分の心が温かくなった。本当は人のためだけでなく自分も高まることがわかりました。



22

山田先生からご指導をいただいたときの児童の感想

- ・良好な人間関係をつくるには、言葉・態度・気遣いを増やすことがとても大切だと分かりました。
- ・私も人生で一番悩んだことは、人との関係でした。はしゃぎすぎて相手はうるさそうに私と一緒に遊んでくれたり、仲間外れになったりしたことがありました。そのような経験のある私にとって、本当に色々なことを教えてもらってとても感謝しております。
- ・今まで、何となく話しかけて仲良しになっていましたが、これからは相手に元気をあげる言葉や、やる気をあげる言葉をかけて仲良くなっていきたいです。
- ・相手に心のエネルギーを与える練習の時間があつたことで、いつも実践できない私も、やることができました。相手と心のエネルギーを与えあっていたいです。
- ・声かけの仕方を友達と実際にやってみることで、話すことの難しさや大切さをより深く学ぶことができました。相手に贈る言葉のことをよく考えてみることで、相手のやる気を出せたり、元気にしたりできるということを学びました。これからも自分を高めるために何ができるかを考えていきたいです。
- ・ストレスだけではなく、たくさんのことが人間関係につながっているのを、自分も相手にも、心のエネルギーを与えながら自分を成長させていきたいです。
- ・友達、家族、周りの人へのエネルギーの与え方を考え、相手を元気にさせられるような心を届けられる自分になりたいなと思いました。
- ・自分を高めるためには、自分らしい心のエネルギーの与え方を見つけることが大切だと分かりました。
- ・自分が話して相手の自己肯定感を高め、また、恩返しのように相手が自分の自己肯定感を高めてくれるということは素敵だなと思いました。
- ・ぼくは言葉かけを実際にやってみた時に友達が温かいことを言ってくれたので嬉しい気持ちになりました。ぼくも、自分や相手、家族をよい気分にさせるためにがんばっていけば、みんなが楽しくうれしい一生を送れると思います。

23

管理職とともにエンカウターの学習 ～人間関係作りからじぶんも高まる～



24

エンカウンターを学習したときの児童の感想

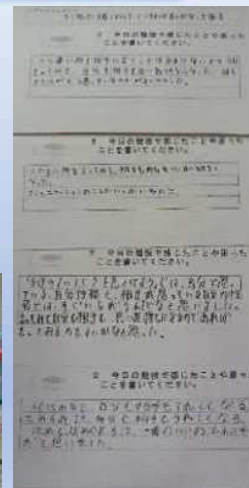
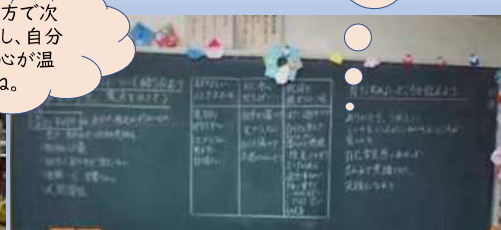


はじめに先生がペアワークで3種類の会話をしてみます。それぞれの立場の違いを感じてください。

人にはいろんなタイプの人があるし、言い方、感じ方が違うんだな。

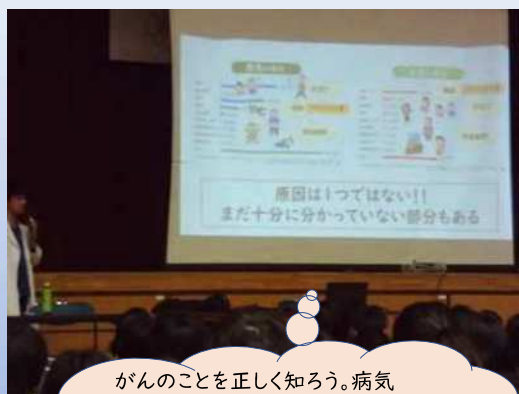


声のかけ方で次が変わるし、自分も相手も心が温かくなるね。



25

草加市立病院の薬剤師さんからがんについて学ぶ



がんのことを正しく知ろう。病気の予防をするためにどうしたらよいかな。未来の自分や家族の健康、一つしかない命を大切にするために具体的に考える機会になりました。

～道徳「生命尊重」と保健体育との関連

みんなには未来があります。病気を正しく知って、理解できましたか。自分の生活を振り返り、病気になるために一人一人が今できることをできるようにしよう。



26

一生使う自分の歯を大切にする ～養護教諭による歯肉炎予防の学習～

歯肉炎について正しく理解し、健康な歯とはぐきを作ろう。
なぜ、歯肉炎になるのか原因を考えよう。予防するためにどうしたらよいか自分の生活を振り返ろう。歯だけではなく、歯ぐきもみがこう。



まずは、自分の歯肉の状態を知るためによく観察し、1週間、正しい歯磨きに取り組もう。自分の歯肉がどう変化するだろう。



27

歯肉炎予防の指導計画と実際に家庭で実践して

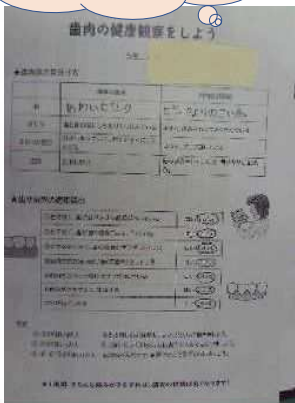
6 歯科保健指導（歯科保健指導年間指導計画）

※年度末評価のため、指導計画の進捗状況を把握してまいります。

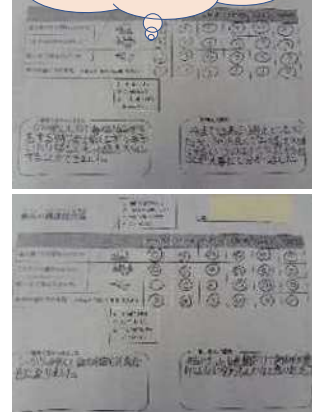
※指導計画は計画通り進めます。

項目	指導内容	指導方法
1 歯の大切さ	歯は一生使う大切な臓器であること、歯の役割（咀嚼、発音、審美）について説明する。	図鑑、動画、模型を用いた説明。
2 歯肉炎の予防	歯肉炎の原因（歯垢の蓄積、歯の隙間の汚れ）と予防方法（正しい歯磨き、歯垢の除去）について説明する。	図鑑、動画、模型を用いた説明。
3 歯の健康診断	歯の健康診断の重要性と、歯の健康診断を受けるタイミングについて説明する。	図鑑、動画、模型を用いた説明。
4 歯の健康診断	歯の健康診断の重要性と、歯の健康診断を受けるタイミングについて説明する。	図鑑、動画、模型を用いた説明。
5 歯の健康診断	歯の健康診断の重要性と、歯の健康診断を受けるタイミングについて説明する。	図鑑、動画、模型を用いた説明。
6 歯の健康診断	歯の健康診断の重要性と、歯の健康診断を受けるタイミングについて説明する。	図鑑、動画、模型を用いた説明。
7 歯の健康診断	歯の健康診断の重要性と、歯の健康診断を受けるタイミングについて説明する。	図鑑、動画、模型を用いた説明。
8 歯の健康診断	歯の健康診断の重要性と、歯の健康診断を受けるタイミングについて説明する。	図鑑、動画、模型を用いた説明。
9 歯の健康診断	歯の健康診断の重要性と、歯の健康診断を受けるタイミングについて説明する。	図鑑、動画、模型を用いた説明。
10 歯の健康診断	歯の健康診断の重要性と、歯の健康診断を受けるタイミングについて説明する。	図鑑、動画、模型を用いた説明。

自分の歯肉を観察するのこんなポイントがあることが分かった。



たった1週間でも自分の歯肉が変わった感じ。小さい積み重ねが大切だな。



28

(5) 家庭・地域の協力を得た教育の実践 ～「親子PTA活動」～

文教大学の先生からSNSの正しい使い方を学ぶ

親子で
シティズン
シップにつ
いて考えよ
う

AIは便利だ
けど、正しい見
方は自分の立
場を明らかにし
ないと見極めら
れないよね。



学期に一度開催する

【地域学校保健委員会】南越谷小学校を会場に
「わが子への対応のしかた～どうしたらいいの？
困った時の自信のもとせかた～」



【保護保護者の方からの声】

- ・子どもにとって自身のつく言葉、思春期の入り口の子どもへの声かけのヒントが見つかりました。
- ・わが子のやる気をさらに高めるような声かけをひと工夫したいと思いました。
- ・自分の子育てを振り返り、NGワードを使っていたのではないかと思います。

29

(5) 家庭・地域の協力を得た教育の実践 ～3校の保護者や学校職員が参加する「地域学校保健委員会」～

学期に一度開催する【地域学校保健委員会】
富士中学校を会場に
取手市教育委員会の藤原 一夫 先生から
「脳科学をいかした子どもへの対応」のご指導をいただく



3校の養護教諭を中心に【地域学校保健委員会だより】を3校に配布



30

本校の課題 **子どもたちの自己肯定感の高揚**

【学校授業公開】

[illegible]

【授業改善・学校生活アンケート】

[illegible]

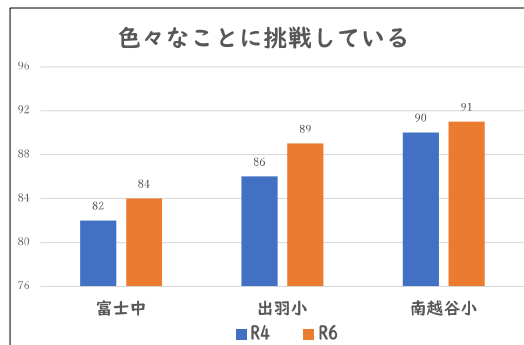
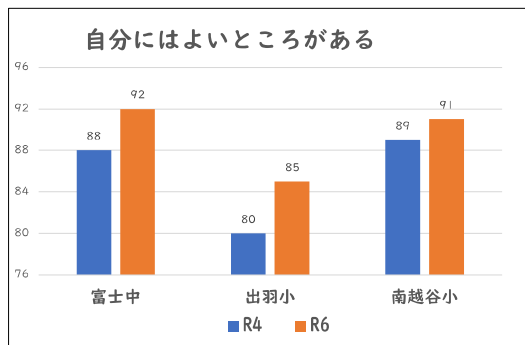
(1) 研究の成果

自己肯定感の高揚

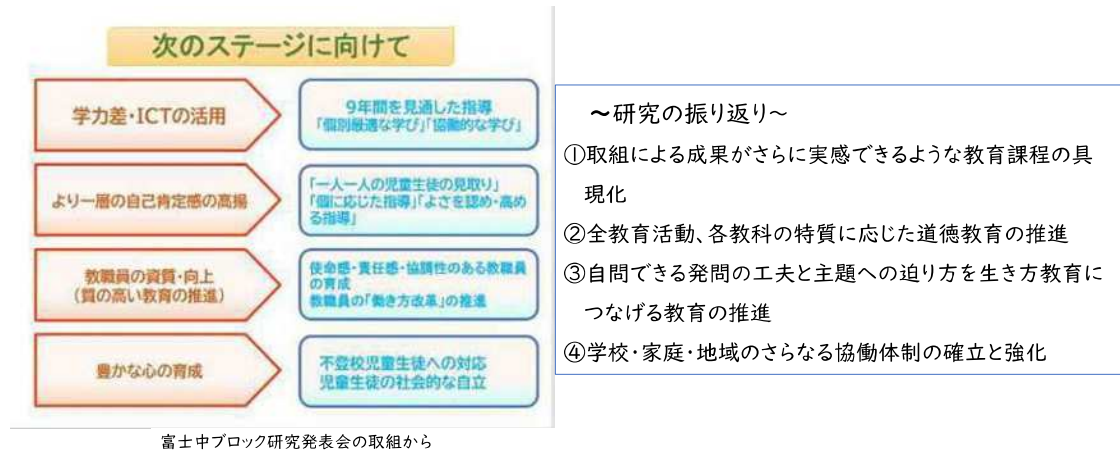
指標：「授業改善・学校生活アンケート」

成果「授業改善・学校生活アンケート」の実施（年2回）

- ①「自分にはよいところがある」
- ②「児童一人一人のよいところを見つけ認めている」
- ③児童が自分を見つめ、具体的に考えを実行にうつす資質・能力が育ちつつある。
- ④教師が9年間を見通し、目指す児童生徒像となるよう意識し日々の実践に取り組んでいる。
- ⑤子どもへの心の健康（自己肯定感）を維持、向上させるために学校・家庭・地域の連携がより密になりつつある。



(2) 課題



7 成果と課題

(1) 成 果

【児童自身の自己肯定感が高揚した要因として】

- ・教師自身が課題である自己肯定感を高めるためのアプローチの仕方を多方面の専門的な知識を持つ先生方からアドバイスいただいた。
- ・自己肯定感の高揚を図るための教育課程を見直し実践につなげた。
- ・自分の体の変化と心の関係を考えさせるために一生使う歯、特に歯肉に焦点を当てて保健指導を行い、家庭での取組にも協力を得た。
- ・薬物乱用防止は自分も人も大切にする。
- ・保健室に来室する子どもへの声かけやアプローチを担当と連携し、個に応じて行った。
- ・地域学校保健委員会で成育歴を含めて講師の方からお話を伺い、学校全体で取り組み、家庭へその内容を伝え、生活習慣に特によい睡眠について啓発することができた。
- ・児童自身が山田教授の講義を受けて、前向きになったことは大きな成果である。それを受けて管理職によるエンカウンターで児童がよりよいコミュニケーションを考え、人間関係の構築を真剣に考えた。相手をほめると自分もうれしくなり、自分を大切にすることは相手をも大切にすることを実感できた。
- ・児童からは自己肯定感を高めるために「相手をほめることで元気がもらえ、自分が高まるということが分かった」という具体的な内容が多々出てきている。

【児童の声】

- ① 自分のよさを見つける・自分を知るために相手を知る。好きなことをやっている人を見て気持ちを聞いてみる。周りのことをよく見て、いつも当たり前と思わないことが大事。
- ② 自分のよさを伸ばすために自分をほめる。いろいろなことに興味を持つ。
- ③ 自分のステキをふやすいろいろなことに挑戦し可能性を伸ばす。日々の生活や人生を前向きに考える。

(2) 課 題

- ・教職員の豊かな人間性と授業力を高め、授業を核として児童生徒に学力をつける。
- ・学校がチームとなって互いに確認し合う機会を日頃から設ける。
- ・今回の研修で学んだ視点を、小中一貫教育の課題に応じて柔軟に生かしていく。
- ・常にPDCAにより課題意識を持ちながら、継続的に研修に取り組んでいく。
- ・言語活動を豊かにし、コミュニケーション能力を育成し人間関係を構築する。
- ・小さい成功体験を積み重ね、児童生徒に自信をつけ、次の意欲につなげる。
- ・平素から学校・家庭・地域が密に連携を学校の教育活動を正しく理解してもらう。